



# 農業はやらない!と思っていた私が 花農家をめざしたワケ

東京出身ママの雫石移住ストーリー

# 細川 梨良(45)

- ・移住 12 年目  
雫石出身のご主人と結婚を機に  
東京から雫石へ移住。
- ・就農 3 年目
- ・子ども  
9 歳（男） 7 歳（女）
- ・研修期間  
農業大学校 1 年半  
リンドウ農家 2 年  
（現地研修）  
※並行して研修した
- ・面積  
りんどう 30アール  
切り花 10アール



# 1.東京での暮らし

東京生まれ、東京育ち。満員電車で揺られ、高層ビル群に囲まれる。時間の感覚がわからなくなるほどの忙しい日々。土や自然に触れる暮らしなんて、自分には一生無縁だと思っていました。

でも心のどこかで、常に「このままでいいのかな」という未来への漠然とした不安が時折頭をよぎっていました。

幸せって何だろう??  
出世? 結婚?  
30代40代もこの仕事?



## 2.雫石との出会い

### 正直不安でした

東京から遠く離れた岩手県 雫石町。

目の前に広がる雄大な岩手山と美しい田園風景。素晴らしいけれど、誰も知り合いのいない土地での暮らし、そして子育て。新しい生活のへの一歩を踏み出すことは私にとって大きな試練でした。



## 2. 雫石との出会い

### 一日が短く感じた

夜はビルなどの明かりがないため  
日が暮れると  
一日が終わるという感じ。

知り合いもない

当たり前朝が来て  
当たり前夜が来る。  
それに合わせるかのように起きて寝る

**18時にはまっくら！！**



### 3. 農業との出会い

畑を見に行った日、  
ぽつんと、田んぼの中にそびえたつもの  
が・・・！  
背丈ほどのりんどうだった。

青空に向かって  
まっすぐ伸びる。  
この花を育ててみたい



# ただ、ただ、「きれいだった」

雫石の済んだ夏空の下、鮮やかに咲き誇るりんどう。  
空の色をそのまま吸い込んだようなその青によって、  
私の中で何かがはじける感じがした！

農業がイヤだった私が  
農業も悪くないかもと思った瞬間

## 4. 農業を始める決断

でも現実是不安だらけ

収入は？

子育ては？

自分にも  
できる？



# 雫石町でりんどう農家になるということ

岩手県は

りんどうの生産量日本一！

その中でも**雫石**は最高の環境

■りんどうとの相性が良い！

- ・昼夜の寒暖差
- ・雨量が適度にある
- ・りんどうは日本を代表する花
- ・コミュニティの力
- ・ワークライフバランス



虹の似合うまち雫石町

## 5. 雫石で生きる、リアルな農業 実際は甘くない

- ・ 天気
- ・ 体力
- ・ 収入の不安

思った以上に大変

### 自然と共に歩む



天気予報に一喜一憂する日々。自然のサイクルに体を馴染ませながら働く、本来の心地よさがあります

### 手ごたえのある自立



簡単な仕事ではないけれど、自分で手をかけた分、実りとなる。お給料以上の確かなやりがいがあります。

### 支え合う仲間



移住者の私を温かく迎え入れ、技術を惜しみなく教えてくれる先輩花農家さんたち。一人ではない安心感があります。

## 6. 子育てと農業

### 忙しい日々も

子育てをしながらの農業  
忙しいけれど

私たち親が農業するということで、  
親の背中を見た子どもが恥ずかしくな  
いように、胸を張れるように、  
がんばらなくちゃ！



どこまでも広がる土の上で走り回り、虫や草花に直に触れて遊ぶ子供たちの姿。自然の中で育つ子ども。これは東京ではできなかった。

親として、人として・・・、「本当に豊かで、安心できる暮らし」が、この雫石にはありました。



# 7. 農家の一日

## 自分で時間をデザインする



～8:30 起床 出荷 家のこと  
子どもの送り出し 洗濯

9:00 畑 収穫  
起床 子どもの送り出し 洗濯

12:00 昼休み  
おひるね 買い物など

14:00 畑 出荷整理

17:00 家のこと  
子供の迎え 夕食

# 8. 農家の一日 ある夏の日のサイクル

朝の収穫時間

午前の畑作業

午後の畑作業

家族と過ごす余白

誰かに管理される時間ではなく、自然のリズムと対話しながら、自分の暮らしをデザインしていく充実感があります。



## 8. 農家の冬

### 3か月のOFF

趣味に没頭したり

旅行に行ったり

子どもたちとゆっくり過ごす



## 9. つながる喜び

### 『ひとりじゃない』

移住前、一番不安だった農業という職

零石の人々はとても内気な方が多いのですが、一度心を開くと家族のように気にかけてくれる。

必ず人が助けてくれる

農業の仲間

地域の人

ひとりで頑張らなくてもいいんだ....。



## メリット

- ・ 自由時間
- ・ 光合成してる
- ・ 稼ぐ方法も自由

## デメリット

- ・ 天候に左右される
- ・ 収穫期は予定が立てられない
- ・ 疲労の蓄積 腰にくる
- ・ 国保

## 10. だから続けられる

大変なこともある

メリット デメリット

でも

それ以上に

この暮らしが好き



# 11. 私の畑で、まずはリゾートバイトしてみませんか？

## お試し農業体験

一度、雫石町に来て  
農業を体験してみませんか？

自然に囲まれた暮らしの中で、  
土に触れ、人と出会い、  
“地方で暮らす”をリアルに感じる3日間  
交通費最大3万円支給！  
3日以上の農業体験を実施。

時給：1,050円

雫石の暮らしと農業を、実際に体感で  
きる貴重な機会です！  
少しでも興味のある方は、ぜひお気軽  
にご参加ください。



# ひとりで頑張る仕事 ＝農業 ではなかった！

農業がイヤだった私でも  
ここまでくることができました。

雫石には  
挑戦できる環境があります。



# この暮らしが、好き。

かつて『農業なんてやらない!』と思っていた私が、今、雫石の空の下で、一番自分らしく暮らしています。

そう、決めつけていた自分と改めて向き合ってみたらちょっと違った自分に出会えた。

この時間軸がゆっくりな場所で、自分を大切にする暮らしをはじめませんか??